

簡易点検記録表

～フロン排出抑制法に基づく農業機械用エアコン機器等第一種特定製品～

機種	型式	機械番号	管理責任者

点検頻度		3ヶ月に1回以上の点検を行うこと										
点検実施	西暦											
	月/日	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	点検者											
点検項目	機器の異常音	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
	機器の異常振動	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
	機器の損傷	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
	機器の著しい腐食	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
	機器周辺の油漏れやにじみ	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
	機器の温度調整機能(冷房が正常に作動する)	正常・異常	正常・異常	正常・異常	正常・異常	正常・異常	正常・異常	正常・異常	正常・異常	正常・異常	正常・異常	正常・異常
	冷媒量の状態	正常・異常	正常・異常	正常・異常	正常・異常	正常・異常	正常・異常	正常・異常	正常・異常	正常・異常	正常・異常	正常・異常
	その他所見											

～点検項目について～

- お客様が行われる簡易点検については、目視による外観点検が主となります。
- 上記点検項目に記載のある機器とは、エアコン用コンプレッサ、配管ホース、コンデンサ等の部位を表しています。
- 冷媒量はレシーバのサイトグラスにて点検を行ってください。点検方法は下表の【冷媒量点検手順】を参照ください。

【冷媒量点検手順】

- ①エンジンを始動しエンジン回転数を、約1,500rpmにセットします。
- ②次に、温度コントロールレバーを最強冷位置(左端)にし、ファンスイッチを最強風位置(H I)にします。
- ③最後に、エアコンスイッチをONし、サイトグラスにより、流れている冷媒の状態を確認します。

冷媒量の状態	正常	異常
サイトグラスの状態	 <p>冷媒の流れが確認出来、気泡がほとんど流れてこない状態が正常です。 冷媒量は適正量です。</p>	 <p>気泡が消えずに連続的に流れている状態は異常です。 冷媒量が不足しています。</p>
		 <p>冷媒の流れが確認出来ず、気泡も全くない状態は異常です。 冷媒量がほぼ無い状態です。</p>

- ※外気温度が低い時には、冷媒量が適正量であっても気泡が確認される場合があるので、注意してください。
- ※点検を行い、異常箇所があった場合は、「お買い上げ先」にお問い合わせください。
- 冷媒の漏えいを発見した場合は、速やかに漏えい箇所の特定及び修理を「お買い上げ先」に依頼してください。
- ※簡易点検記録表は機械を使用中および廃棄後3年間は保存してください。
- ※機械を譲渡する際は、簡易点検記録表を必ず機械と一緒に渡してください。